



はじめてのまきちゃん MS1-486

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

組立方法はWEBページ上に動画や画像でわかりやすく解説しております。
詳しい組立方法を知りたい方はこちらから各製品ページをご確認ください。



DOPPELGANGER OUTDOOR

検索

<http://www.doppelganger-sports.jp/>

DODの新製品情報などについては下記SNSもご覧ください。



※DOPPELGANGER OUTDOORは地球環境保護のためペーパーレス化を推進しています。

ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

- 本製品は、暖房器具やグリルとしての使用を目的として設計されています。常設にしたり室内やテント内、強風といった環境下では絶対に使用しないでください。
- 各部の構成をよく把握し、組立順序に従って取扱ってください。
- 組立設置及び、解体撤去に際しては、鎮火していること、十分に本体が冷めているか確認後、安全の為に難燃性の手袋を着用して行ってください。
- 小さなお子様のみの使用は危険ですので絶対に行わないでください。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 使用を開始する前に、本体及び煙突の周辺に可燃物がないか確認してください。
火災が発生する恐れがあります。
- 使用する際は一酸化炭素警報装置等を併用してください。
警報が鳴った際はただちに一酸化炭素中毒防止のために必要な全ての処置を行ってください。
- 台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。
- テント内や屋内にて使用したり、据え置きストーブとして使用しないでください。
- 本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。
- 完全に乾燥した薪以外は燃やさないでください。
- 薪ストーブ用の薪、あるいは専用の炭以外を燃やさないでください。ペンキや接着剤等の化学薬品が使用された木材は有害物質が発生する恐れがあります。
- ガソリン、軽油、灯油またはオイルなど、薪以外の燃料を投入しないでください。
- ガスボンベ等の容器を本製品の周囲に置かないでください。熱で爆発する恐れがあります。
- 使用後はできるだけ頻繁に煙突を掃除してください。煙突に蓄積した燃焼物が原因で、不完全燃焼や煙道火災等が発生する恐れがあります。
- 本製品を使用する際は万が一に備え、消火器等すぐに消火できる準備をした上で使用してください。
- テント等の内部に煙が入らないよう、風向きや設置場所に注意してください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品を使用中は目を離したり、場所を離れたりしないでください。
- 水等をかけて本製品を冷却しないでください。水蒸気による火傷や本体が変形する恐れがあります。
- 本製品を使用する際は必ず先端を含む4本以上の煙突を取り付けた状態で使用してください。
- 使用中の本製品を移動させないでください。転倒等で火傷を負う恐れがあります。
- 使用後の灰は紙袋やビニール袋に入れしないでください。火が残っている恐れがあり、火災に繋がる恐れがあります。
- 使用中、使用直後の本製品を直接触れないでください。火傷を負う恐れがあります。
触れる際は必ず難燃・断熱効果のある手袋を使用してください。
- ゴムやナイロンといった可燃性の素材で作られた手袋は使用しないでください。
手袋が溶け、火傷を負う恐れがあります。
- 不安定な場所で使用しないでください。本製品下に可燃物がない、平坦な地面で使用してください。

- 小さいお子様の付近で本製品を使用する際、本製品のあらゆる部分に触れないよう、保護・監督を徹底してください。
また、本製品の付近では決して遊ばせないでください。

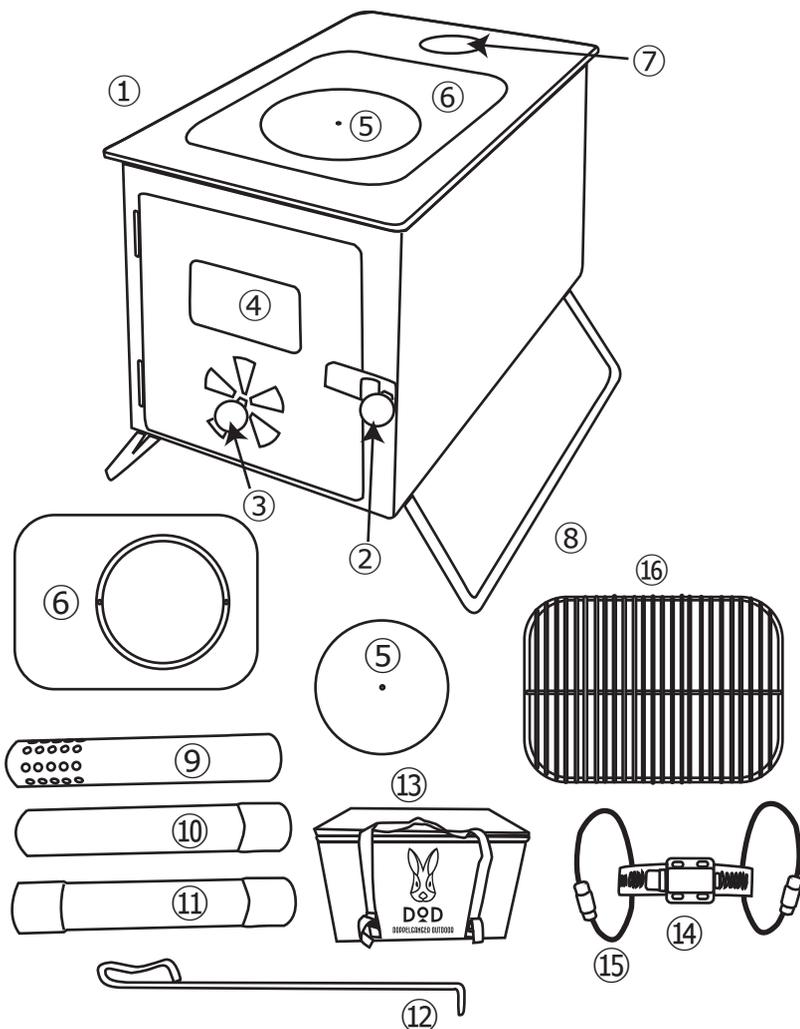
収納、保管について

- 使用後は本体や煙突内部の汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 収納袋は洗濯しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

製品仕様

【材質】本体、火かき棒：スチール 煙突、グリル網、リング：ステンレススチール
【原産国】 中国

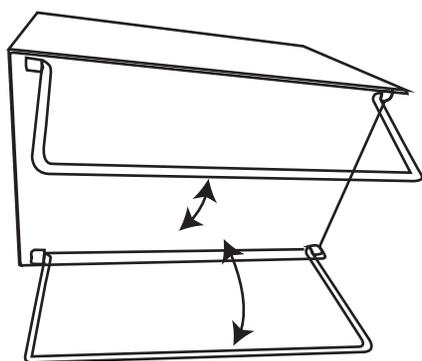
各部の名称およびセット内容



①	ストーブ本体
②	ドアハンドル
③	空気量調整ノブ
④	耐熱窓※別梱包
⑤	蓋A
⑥	蓋B
⑦	煙突用穴
⑧	脚部
⑨	先端用煙突
⑩	中間用煙突×7
⑪	根本用煙突
⑫	火かき棒
⑬	キャリーバッグ
⑭	固定用リング
⑮	ペグダウン用リング
⑯	グリル用網

< 組み立て・使用方法 >

※製品ページ上でも設営・撤収方法は詳しく見ることができます。

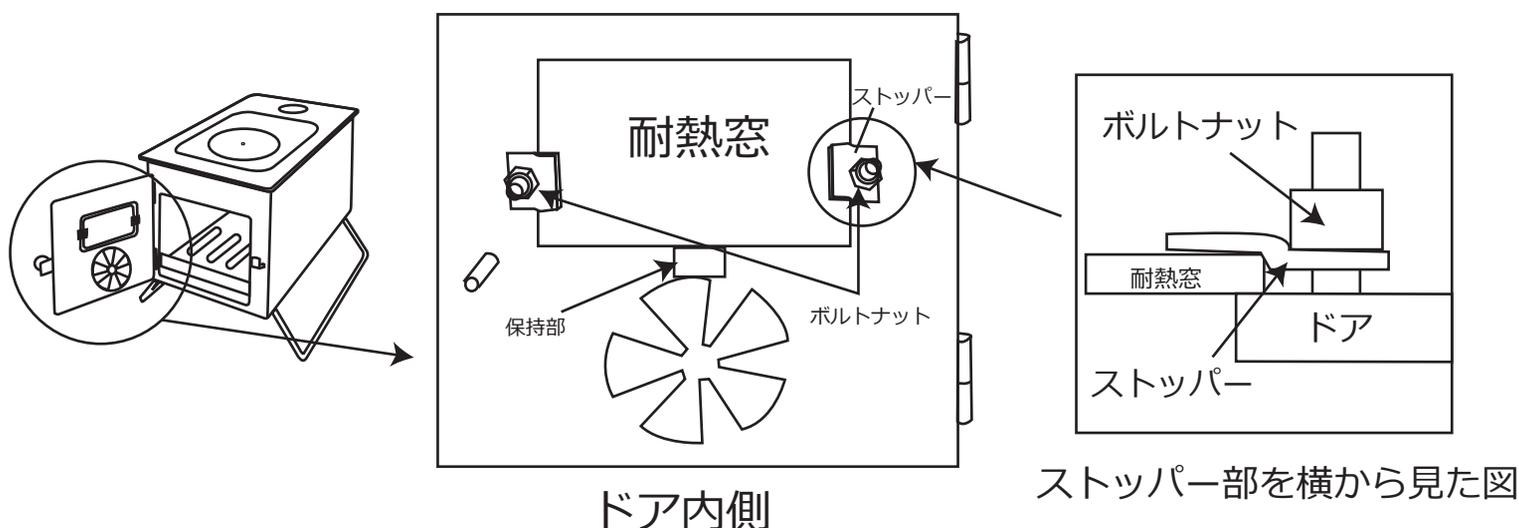


ストーブ底図

1. 脚部の組み立て

梱包箱から全ての付属品とストーブ本体を取り出してください。次に、ストーブ本体内部の煙突を取り出してから、ストーブ本体を横に倒して脚部を展開してください。

2. 耐熱窓の固定方法



本製品の耐熱窓は運送中の破損防止のため、はずされて出荷されております。

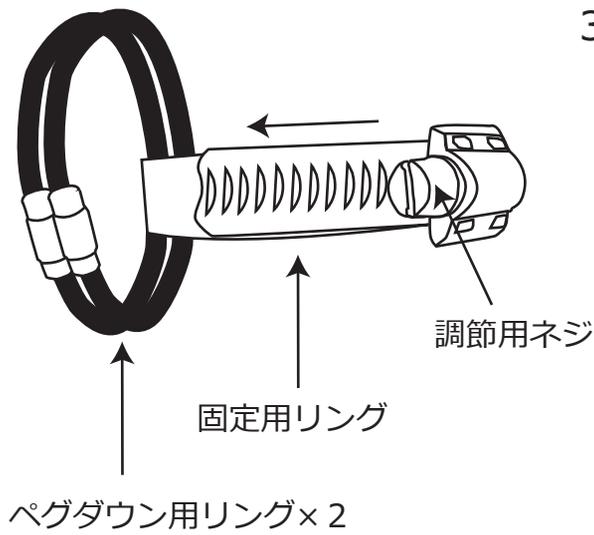
ご使用される前に上記の画像のように固定してからご使用ください。

- 1, ボルトナットを緩め、ストッパーとドアとの間に空間を作ってください。
- 2, 耐熱窓を上部からスライドさせ、保持部の上に引っかかった状態で保持してください。
- 3, 耐熱窓が保持部から落ちないように抑えながら、ボルトナットを締めてください。

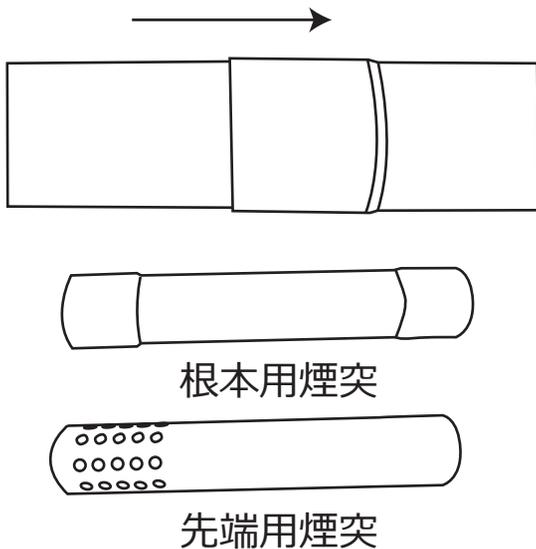
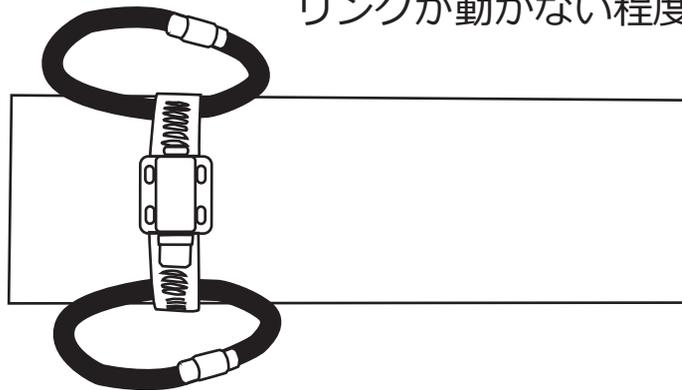
この際、上記のストッパー部を横から見た図を参考に、ストッパーが耐熱窓を固定できているか確認してください。

※注意 ボルトナットを強く締めると耐熱窓が割れる危険性があります。
手で締める程度で固定してください。

- 4, 使用後は耐熱窓を外し、割れないように緩衝材等で包み保管してください。



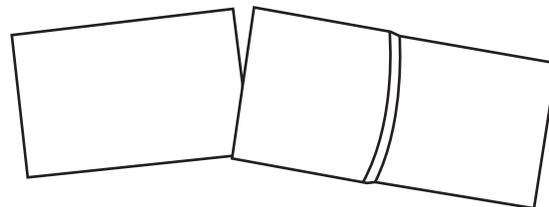
3. ペグダウン用リングを組み立てます。これは煙突をペグダウンして強固に固定するためのものです。調節用ネジを緩めてペグダウン用リングを固定用リングに通してください。通した後は調節用ネジを軽く締めて、下図のように中間用煙突に通し、調節用ネジを締めて固定してください。この際、ネジを強く締めすぎると煙突が変形してしまうためご注意ください。ペグダウン用リングを引っ張っても固定用リングが動かない程度を目安としてください。



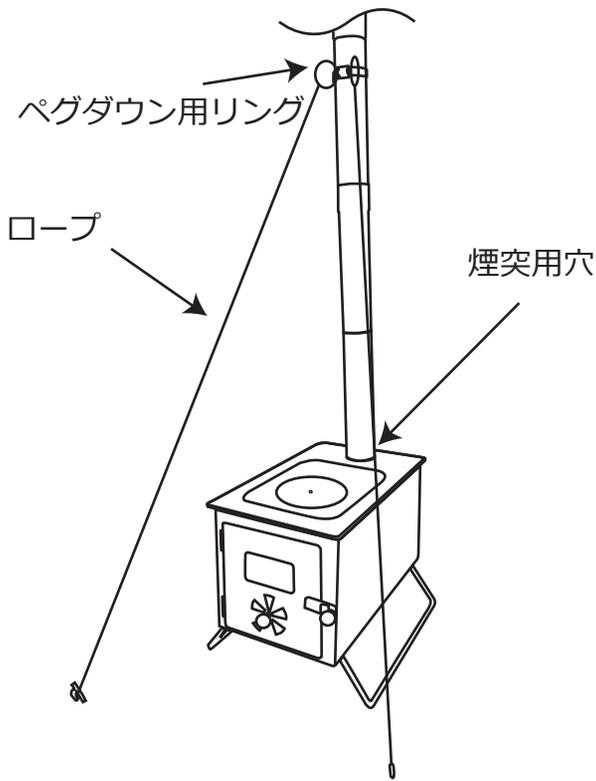
4. 煙突を組み立てます。両側に膨らみがある煙突がストーブ本体に最初に差し込む煙突です。膨らみがある側に膨らみがない側を差しこんでください。ペグダウン用リングが付いた中間用煙突は、ストーブ本体から3本目程度の位置になるよう組み立ててください。

※煙突の長さはお好みで調整いただけますが、先端用の煙突を含め最低でも4本以上ご使用ください。また、先端用煙突を必ずご使用ください。

・煙突が組み立てにくい場合

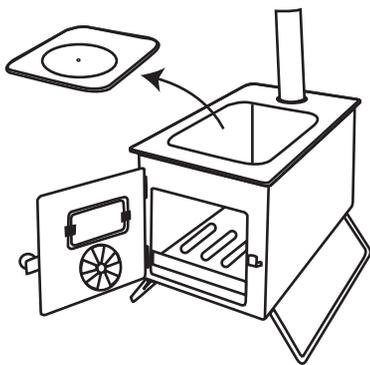


煙突が組み立てにくい場合は、上図のように先端を斜めに挿入後、回しながら押し込むと組み立てしやすいです。また、煙突は素材上、変形しやすくなっています。保管時や使用時は衝撃や荷重を加えないよう、ご注意ください。

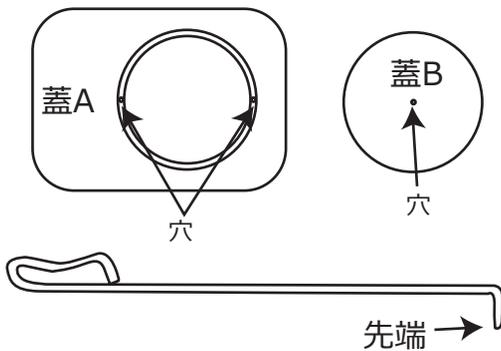


5. 煙突用穴に組み立てた煙突を差し込んでください。奥までしっかりと差し込めていることが確認できましたら、左図のようにペグダウン用リングにロープを通して、煙突をペグダウンしてください。

※ペグダウン用のロープやペグは付属しません。使用中は熱に晒されます。ポリエステル等の化繊ロープは熱溶解する恐れがありますので、使用しないでください。麻紐や耐熱素材のロープを使用してください。



6. 薪や炭をストーブ内に入れてください。蓋ABは取り外すことができますので、上部からも薪や炭を置くことができます。着火後は空気量調節用ノブを回したり、火かき棒で薪等の位置を調整しながらご使用ください。蓋ABは火かき棒の先端を穴に差し込むことで、使用中でも取り外すことができます。お好みでグリル用網に交換してご使用ください。



※初めてご使用いただく際に、本体表面の皮膜が熱せられることで煙が生じることがあります。これは本体内部からの煙の漏れではございません。この煙は1時間程度経過すると徐々に収まります。

<撤収方法>

撤収を開始する前に、薪や炭が燃焼しきり熱を持っていないことや、本体や煙突が熱くないか確認してください。

次にペグダウンしているロープを解き、煙突を取り外してから本体内部のススやゴミを火かき棒でかき出してください。煙突等をストーブ内に収納してキャリアバッグにストーブ本体を収納してください。

<より安全にご使用いただくために>

風向きは突然変わることがあります。設置時には問題がなくても、気付かない間に風向きが変わり、ストーブの排気がテント内等に入る恐れがあります。

以上のような原因による一酸化炭素中毒の防止のため、

弊社製品「**キャンプ用一酸化炭素チェッカー CG1-478**」の同時購入をお勧めしております。テント内の一酸化炭素濃度を測定し、濃度が危険値に達すると音や光にて危険を知らせます。

※本製品には付属しておりません。



加えて、火傷防止のために耐熱素材で作られた

「**バーベキューグローブ GL1-227/228**」の併用もお勧めいたします。